

## 今日のシライ中

白井の愉快的仲間たち

Vol.20

## ニホントカゲ・カナヘビ

「今日のシライ中」でも紹介されていた、「ニホントカゲ」。  
また、それによく似た「ニホンカナヘビ」を紹介します。どちらも、「変温動物」で、自分で体温を調整し、保つことが難しく、外気温等に左右されやすい生物です。そのため、まず、日光などで体温を上昇させてから、活動を開始します。(ちなみに、先日見た「へんてこ生物アカデミー」という番組内で、「今夜はイグアナが降るでしょう。」という気象予報が、寒い時期、フロリダ州・マイアミでは出される。と言っていました！そして、本当に道に降っていました！もちろん温めればまた動き出します。私の所にも降ってきてほしいです！)

さて、その見分け方は、……。 「トカゲ」は、光沢がある。「カナヘビ」はしっぽが長い。とよく言われます。ただ、どちらも、すばしっこいので、そうよくよくは見せてくれないかもしれませんが。ただ、「トカゲ」は、その幼体時、尾が美しく青くキラキラと光ります。夏休み前、3A女子が、手に乗せ、愛でていました。その気持ち、よくわかりますねえ。では、なぜ、青くキラキラしているのでしょうか？しかも、幼体のときだけ？それは、万が一敵に襲われたとき、あのキラキラ光るしっぽで気を引き、自切（何回出てきたワードでしょう！）することで、本体を守るためです。ですから、大きくなると、この美しい青色は消えてしまいます。さて、「トカゲ」たちが、石の上などで日光浴をしているところを目にしたことはありませんか？誰ですか！「いいなあ。私もああしたい。」なんて、思っている人は！あれは、彼らにとっては、命がけのやらねばならない大事な仕事です！そうです。先ほども書いたように、彼らは「変温動物」なんです。ですから、食後の消化をするにも、日光浴が不可欠なのです。そもそも、あんな呑気な姿でいたら、天敵に見つかってしまうではありませんか！食事をするのも、消化するのも大変です。

さて、ここで問題です！同じように「変温動物」で、日光浴をする身近な生物、なあんだ？正解は、「カメ」です。ほら、「カメ」も「甲羅干し」（何と読みますか？こうらぼし です。）といって、日光浴をしているでしょう？あれも、「トカゲ」と同じ理由です。怠け者だからではありません。一見、呑気そうに見える生物の姿にも、それなりの理由があり、生き残るため、あの手この手と大変です。余談ですが、あの姿かたちから、その昔「トカゲ」類は「恐竜」の「子孫」とされていましたが、近年の研究により、「恐竜」の「子孫」は「鳥類」であるとされています。(羽毛の痕跡を示す化石の発見・卵をサークル上の巣に産み、抱卵していた痕跡……。)身近な生物にも太古の不思議が潜んでおり、調べれば調べるほど、謎が謎を呼び、少しもじっとしてられません！知らないことを知ることは、本当に楽しいですよ！

ニホントカゲ



カナヘビ